

The First Church of Christ, Scientist

2023年1月

母教会会員のみなさま、

この手紙を通してみなさまと共に、教会とその創設者に感謝する気持ちを分かち合いたいと思います。私たちは、みな、個人別税金を支払っています。この行為は、簡単ですが、私たちが『教会規範』の文字と精神に従うとき、その意味は誠に深いものになります。それは『教会規範』とは、「芽生える考えを形成し、それを神性の愛の垣根で包み囲むため、独特に適用される」ものだからです（メリー・ベーカー・エディ著『規範』、p. 104）。芽生える考えは、神性の愛の垣根で包み囲まれ、自然に成長し、世界各地の教会で日々行われている実証の中で癒しをもたらしています。

キリスト教科学者として、また現在、みなさまの母教会の会長として、私は繰り返しかつ誠実に自問自答しています。形而上学的（メタフィジカル）に考える人々の共同体である私たちの教会の会員であるということはどういうことなのか、と。この教会とは、神の愛の活動を私たちが、一瞬一瞬はつきりと見極めることができるようにし、そして私たちが一つになり神に仕え、それにより人類に奉仕する努力ができるようにします。私は、常に視点をどこに置くかということが重要であると理解しています。そして、これが、ボストンのキリスト教科学出版協会の「あなたは世界をどのように見えていますか？」（*How Do You See the World?*）という新しい展示の重要な目的です。

この展示を見て鼓舞され、私は、過去数か月間、世界各地からの若いキリスト教科学者たちと会話を交わしました。若者たちは誠実に、そして、とても思慮深くこの質問に答えてくれました。共に、世界という言葉の定義がいかに多様性に富んでいるかを考えました。ある若者は、「それは、神・愛を表わす、より広い意味での家族です」と言いました。他の若者は、「それは、外面的な目に見える環境でもあり、私たちの内的な環境でもあります」と答えました。

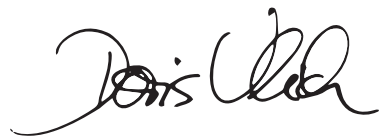
これらの会話で明らかになったことは、世界を、物質的視点から見てどのようなこともすべてが悪い方向へ行ってしまう可能性がある場と見るか、あるいは、神性の真理が実証されている場であると見るかを、繰り返し決める必要があるということでした。私たちは、教会とは神性の真理を選択して生きることができる場であり、霊的実在の自然な証明を分かち合うことのできる場であるという結論に至りました。私たちがあらゆる次元で教会に貢献しているのは、教会についての、この見解によります。私たちが共に働くことによって、私たちの希望、私たちの勇気、そして、

JPN

限界や妨害といういかなる嘘も見抜く力が養われます。その結果、私たちは変えられ、清められ、**キリスト**の一つにする力をより強く感じるようになります。これにより、私たちは、日々の生活や人生、そしてそれを超越した場で、善の証拠をはっきりと見るようになります。

「唯一無限の**神・善**」は、善いことを行ないます。メリー・ベーカー・エディによる『**科学と健康 - 付聖書の鍵**』の340ページにあるこの引用句は、私たちの今年の年次総会のテーマであり、この文章全体は、**神**の、時を超えた無限なる存在の8つの活動を挙げています。しかし、私たちの生活や人生においてこの無限なる**神・善**には数えきれない活動があり、それが、私たち誰にとっても生活し生きている喜びと
なっている世界を作っているのです！「唯一無限の**神・善**」こそ、私たちを一つにして、母教会の活動や私たち自身の癒しの証しを通して**キリスト教科学**の運動を前進させています。

みなさまへの大いなる感謝と、**神**から愛されている子供たちとしてこの教会でみなさまと共にいる喜びをこめて、



Doris Ulich
ドリス・ウーリッヒ
母教会会長